

No	施策名	事務事業の目的	R2決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和3年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和4年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価			
	事務事業名		R3決算額(円)	事務事業評価							
			内 直接事業費	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通			
			内 人件費								
1	消防・救急体制の充実	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、本署の施設設備等の維持管理を行う。	15,608,791	事務事業評価					<p>・庁舎施設における電気設備等の点検業務や感染防止対策を目的としてトイレ洋式化及び洗面所等の水栓自動化工事を行った。</p> <p>・照明器具の取替修繕等を行い、消防活動の拠点としての機能確保と施設の維持管理に努めた。</p>	<p>・屋上防水を最優先事項として、施設の長寿命化を考慮し外壁改修等を実施していくことで、消防活動の拠点としての機能確保をする。</p>	
	60101010		7,697,785	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通			
	本署管理事務		7,911,006	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通			
			18,108,960	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通			
			9,564,570	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通			
8,544,390	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通	改善の効果	高い				
2	消防・救急体制の充実	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、赤羽根分署の施設設備等の維持管理を行う。	17,359,761	事務事業評価					<p>・庁舎施設における電気設備等の点検業務や感染防止対策を目的としてトイレ水栓自動化工事及び男子トイレ洋式化等工事を行った。</p> <p>・屋外灯改修工事等を行い、消防活動の拠点としての機能確保と施設の維持管理に努めた。</p>	<p>・施設の長寿命化を念頭に定期的な予防保全を実施し、劣化防止や故障等を未然に防ぐことで、消防活動の拠点としての機能確保をする。</p>	
	60101020		3,964,063	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通			
	赤羽根分署管理事務		13,395,698	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通			
			15,579,398	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通			
			5,742,796	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通			
9,836,602	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通	改善の効果	高い				
3	消防・救急体制の充実	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、瀬美分署の施設設備等の維持管理を行う。	15,196,353	事務事業評価					<p>・庁舎施設における電気設備等の点検業務や感染防止対策を目的として洗面所等の水栓自動化工事を行った。</p> <p>・水道給水管の補修、照明器具の取替などの修繕を行い、消防活動の拠点としての機能確保と施設の維持管理に努めた。</p>	<p>・老朽化が進む施設の適切な点検維持管理を行い、施設の長寿命化を考慮し必要な修繕等を実施していくことで、消防活動の拠点としての機能確保をする。</p>	
	60101030		4,135,823	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通			
	瀬美分署管理事務		11,060,530	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通			
			18,668,446	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通			
			5,008,108	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通			
13,660,338	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通	改善の効果	高い				
4	消防・救急体制の充実	水火災等の災害時に安全・迅速な消防団活動を実施するため、装備・資器材の充実、被服等の貸与及び消防団車両の維持管理を実施する。また、消防団員の処遇を改善し、地域防災力の充実強化に努める。	329,607,551	事務事業評価					<p>・ベテラン職員の退職に伴い、若年化が進む中、消防力の低下を抑えるため核となる中堅職員の更なるスキルアップを目指すとともに、若手教育を強化し消防力全体の底上げを図る。</p> <p>・多様化する災害の発生により、年々広域応援体制が強化される中、特異災害への対応力の向上を図る必要がある。</p>	<p>・計画的、段階的に各種訓練を実施し、消防力の維持、向上に努め、経験が少ない若手職員を対象に実事例を報告、研修するなど、創意工夫して若手教育を実施した。</p> <p>・資器材の点検整備を定期的に実施し、機能維持に努めるとともに、数量の見直し等を行い維持管理などのコスト削減に努めた。</p>	<p>・日々多様化する災害及び広域化する出動に対応するため、各種訓練を継続し、更なる消防活動技術を習得し、各種災害に対応できる消防力の向上に努める。</p> <p>・資器材の老朽化に伴う機能低下や事故を防ぐため、適正な維持管理を実施し、適宜更新計画を見直し消防力の低下を防ぐように努める。</p>
	60101060		5,282,965	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い			
	消防活動事業		324,324,586	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い			
			332,602,652	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い			
			6,635,668	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い			
325,966,984	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い	改善の効果	高い				
5	消防・救急体制の充実	東三河共同受信において迅速かつ的確な出動指令を行い、通信室において火災時の同報無線、災害時の無線統制、緊急通報システム受信及び各種連絡を行い各種災害による被害の軽減を図る。	101,171,222	事務事業評価					<p>・東三河消防指令センターとの情報交換を行い、問題の共有及び早期解決に努め、消防救急デジタル無線の円滑な運用を図った。</p> <p>・通信指令システムの世帯主及び目標物データの更新を行った。</p>	<p>・消防通信指令システムの更新計画に基づき、東三河消防指令センター及び東三河各消防本部と緊密な連絡体制を構築する。</p> <p>・通信指令システム機器及び消防救急デジタル無線の老朽化に伴う出動指令の遅延や通信障害の防止を図るため、更新計画を作成し適正な維持管理に努める。</p>	
	60101070		23,276,959	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い			
	通信指令事務		77,894,263	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い			
			99,266,094	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い			
			22,109,213	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い			
77,156,881	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い	改善の効果	普通				
6	消防・救急体制の充実	水火災等の災害時に安全・迅速な消防団活動を実施するため、装備・資器材の充実、被服等の貸与及び消防団車両の維持管理を実施する。また、消防団員の処遇を改善し、地域防災力の充実強化に努める。	112,163,766	事務事業評価					<p>・団員が安全に活動できるよう、被服、資器材等の安全装備品を貸与した。</p> <p>・コロナ禍において、活動が制限されるなか、団員や家族に配慮し、訓練方法を検討し感染対策を完全に、必要な訓練を実施した。</p>	<p>・消防団の装備の基準を踏まえて、安全確保対策、救助用器具、情報通信機器等の装備を更に充実強化し、引続き安全な活動環境づくりを目指す。</p> <p>・多様化する消防団の活動を見直すことで、負担軽減を図り、団員の加入促進へとつなげる。</p>	
	60101080		99,065,409	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い			
	消防団活動事業		13,098,357	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い			
			107,055,138	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い			
			93,307,711	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い			
13,747,427	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い	改善の効果	高い				
7	消防・救急体制の充実	災害時の消防団活動を円滑にするため、消防団の活動拠点である詰所車庫の維持管理を実施する。	5,119,371	事務事業評価					<p>・市内22か所の詰所車庫を調査し、修繕を実施している。しかし、老朽化が進んでいるため、適切な時期に修繕を行い維持管理を図る必要がある。</p>	<p>・神戸分団2号、3号、中部分団、伊良湖岬分団1号、3号の詰所車庫の修繕を実施した。</p>	<p>・施設の劣化度調査を実施し、必要により修繕等を行う。</p> <p>・施設の長寿命化を図るとともに、地域の活動拠点としての機能を維持していく。</p>
	60101090		3,281,217	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 普通			
	消防団施設管理事業		1,838,154	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 普通			
			5,381,644	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 普通			
			3,569,709	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 普通			
1,811,935	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 普通	改善の効果	高い				

No	施策名	事務事業の目的	R2決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和3年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和4年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
	事務事業名		R3決算額(円)	事務事業評価									
			内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
			内 人件費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
8	消防・救急体制の充実	火災予防啓発活動を積極的に実施し、市民の防火意識の向上を図るとともに火災を早期に見出し、火災による死傷者及び被害の軽減を図る。	33,921,422	事務事業評価					・特定防火対象物へ定期的な立入検査を行い、早期に違反是正を実施する。 ・実態が把握できていない非特定防火対象物について調査し、違反があれば是正を行う必要がある。	・特定防火対象物に対して立入検査を実施し、違反是正を行った。立入検査58件 違反是正2件 ・非特定防火対象物に対して立入検査を実施し、実態を把握するとともに違反是正を行った。立入検査6件 違反是正4件	・特定防火対象物、非特定防火対象物への立入検査を継続して実施し、法令に基づく維持管理の指導と違反是正を行う。 ・防火管理者未選任違反対象物の減少及び防火管理者の人事異動等による変更に対応できるよう、継続して防火管理講習を年2回開催する。		
	60101100		661,046	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 極めて高い	5 高い				改善の効果	高い
	火災予防推進事業		33,260,376	2 鈴木 智博	3 高い	4 極めて高い	5 高い						
			23,279,152	3 高い	4 極めて高い	5 高い							
			604,808	4 極めて高い	5 高い								
22,674,344	5 高い												
9	消防・救急体制の充実	・消防法令に基づき危険物製造所等の許可、認可及び立入検査等を行い、危険物が適正な施設や手続きに沿って取り扱われるよう指導し、危険物に関連する事故等の発生を防ぐことにより市民の安全を確保する。 ・火薬類取締法に基づき煙火消費許可及び立入検査等を行い、煙火消費が適正に行われるよう指導する。	16,525,211	事務事業評価					・危険物製造所等の許可、認可及び施設への立入検査を行うことで安全換業の推進を行う。 ・煙火消費許可及び立入検査等の実施により安全な消費を指導する。	・全危険物施設に立入検査を行い、安全換業のため適宜指導を行った。立入検査332件 ・法令違反を未然に防ぐため、地下貯蔵タンクの漏えい事故防止対策が必要な事業者に指導を行い、措置を完了した。5事業所 タンク13基	・危険物施設自体は、全国的に減少傾向にあるが、既存の施設は老朽化が進んでいる現状から、事故防止のため適正な維持管理の指導を行う。 ・地下貯蔵タンクの漏えい事故防止のため、事業者が実施すべき対策について、通知・指導を継続して行う。		
	60101110		214,687	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 極めて高い	5 高い				改善の効果	高い
	危険物災害防止事業		16,310,524	2 鈴木 智博	3 高い	4 極めて高い	5 高い						
			20,859,305	3 高い	4 極めて高い	5 高い							
			214,906	4 極めて高い	5 高い								
20,644,399	5 高い												
10	消防・救急体制の充実	・災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、消防車両及び車両装備品の維持管理を行う。 ・緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。	26,050,339	事務事業評価					緊急車両として安全に使用できるよう万全な車両整備が必要である。今後も法定点検や自主点検を実施し、徹底した維持管理を行う必要がある。	・法定点検や自主点検を徹底し、交換が必要な部品を適切に交換することで、緊急車両の維持管理を行った。 ・特殊艦装車(はしご車、高所放水車、CAFS装備車)のメンテナンスを艦装メーカーで実施し安全運行を徹底した。	・車両及び資器材等の法定点検及び自主点検の徹底を継続し、故障が発見された場合は修繕を行い、緊急車両として維持管理を行う。 ・特殊艦装車は高度な整備と管理が必要なため、計画的なメンテナンス等により安全運行を図る必要がある。		
	60101120		9,167,198	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通				改善の効果	普通
	消防車両等維持管理事務		16,883,141	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通						
			37,565,785	3 高い	4 高い	5 普通							
			12,407,793	4 高い	5 普通								
25,157,992	5 普通												
11	消防・救急体制の充実	・水難救助活動の円滑な運営を図る。 ・水上バイクの機動性を生かし、迅速かつ安全・的確な活動を実施する。	15,859,664	事務事業評価					水難事故発生時において迅速で効率的な救助活動を実施するため、特別水難救助隊の知識・技術の向上に努めた。 ・水難救助活動を安全かつ継続的に行うため、特別水難救助隊員の新規養成が必要である。	・特別水難救助隊機関員養成を行った。機関員養成3人 ・水難救助活動に必要な資器材を配備した。	・水難救助活動の円滑な運営のため、計画的に特別水難救助隊員の養成及び継続した訓練を実施する。 ・水上バイク、トレーラの法定点検や自主点検を実施し、維持管理を行う。 ・水上バイクの故障時等に対応するため追加購入の検討が必要である。		
	60101130		2,344,239	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い				改善の効果	極めて高い
	特別水難救助隊活動事業		13,515,425	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い						
			13,918,009	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い							
			1,240,711	4 極めて高い	5 高い								
12,677,298	5 高い												
12	消防・救急体制の充実	・防火水槽を改修し、有蓋化、耐震化を図る。 ・火災による被害を最小限に抑えるため、消防水利として防火水槽の整備を図る。	28,082,935	事務事業評価					消防力の一つである防火水槽の整備は消防の責務であり、耐震性を有する二次製品を選択し、老朽化した防火水槽取壊しと併せて市有地への設置を推進する。	適切な時期に施設の更新ができるよう、今後10か年の防火水槽整備事業計画を策定した。	・老朽化した防火水槽の取壊しを行うとともに、消火栓配置とのバランスを取り、効果的な位置に防火水槽を整備する。		
	60102010		18,476,904	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 極めて高い	5 普通				改善の効果	高い
	防火水槽整備事業		9,606,031	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 極めて高い	5 普通						
			7,600,252	3 極めて高い	4 極めて高い	5 普通							
			0	4 極めて高い	5 普通								
7,600,252	5 普通												
13	消防・救急体制の充実	・火災時の迅速な消火活動に備え、既設防火水槽の補修等を行い有効水利を確保する。	11,087,412	事務事業評価					水利標識、防火水槽用金網交換を実施するとともに、老朽化した防火水槽3基の取壊しを実施した。	水利標識、防火水槽用金網交換を実施するとともに、老朽化した防火水槽3基の取壊しを実施した。	・有事の際に円滑な消防業務が行えるように消防水利の維持管理を行うとともに、老朽化した消防水利の取壊しや修繕に取り組む。 ・無蓋防火水槽の安全対策を計画的に実施する必要がある。		
	60102020		5,726,548	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 極めて高い	5 普通				改善の効果	高い
	消防水利維持管理事務		5,360,864	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 極めて高い	5 普通						
			9,090,666	3 極めて高い	4 極めて高い	5 普通							
			3,607,967	4 極めて高い	5 普通								
5,482,699	5 普通												
14	消防・救急体制の充実	・消防水利として消火栓の適正な配置を考慮し整備を図る。 ・火災時に消火栓が適切に使用できるよう、維持管理・補修を実施する。	18,051,607	事務事業評価					水道事業と連携し、耐震性のある水道管を有効利用し、消防水利の効率的な整備を実施する。	・消火栓の新設・移設替え等の整備は、水道事業と協議し、消防水利の基準に基づき適正配置に努めることができた。 消火栓設置工事 2基 補水栓撤去工事 1基	・消防水利の整備拡充が今後も課題となるため、効果的に消防水利を配置するとともに、新たな開発行為等における設置や、耐震性を有する消防水利の設置を図る。		
	60102030		15,419,030	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い				改善の効果	高い
	消火栓設置・維持管理事務		2,632,577	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い						
			19,478,388	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い							
			16,729,480	4 極めて高い	5 高い								
2,748,908	5 高い												

No	施策名	事務事業の目的	R2決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和3年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和4年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
	事務事業名		R3決算額(円)	事務事業評価									
			内 直接事業費	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い					
15	消防・救急体制の充実	地域住民の安心・安全を確保するため、機能低下した消防団車両を更新し消防力の向上を図り、火災等の各種災害による被害を軽減する。	<b>13,058,586</b>	事務事業評価					消防団車両の安全な運行を確保し、災害時の円滑な消防団活動を維持するため、車両の耐用年数、老朽化の程度等を考慮し計画的に更新を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新年数を経過し老朽化した普通ポンプ車1台(東部分団1号車)を更新した。</li> <li>・現有消防ポンプ自動車を運行するためには、準中型免許が必要となった。車両更新に合わせ普通免許で運行可能な小型動力ポンプ付積載車に変更した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新に際しては、新免許制度への対応を考慮し、地域の特性に合わせた車両積載をするともに、車両積載器材についても震災時に活用できる資器材の導入に配慮する必要がある。</li> <li>・消防団活動に欠くことのできない車両は、整備する必要性が高いため計画的に更新を行う。</li> </ul>		
	60102050		9,937,590	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い				改善の効果	高い
	消防団車両整備事業		3,120,996	12,670,533	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い						
			9,938,767										
			2,731,766										
16	消防・救急体制の充実	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における活動拠点としての機能を確保するため、施設の長寿命化を行う。		事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に点検を実施し、老朽化等の不良箇所を早期に発見して修繕等を実施する必要がある。</li> <li>・拠点施設としての機能性を更に向上させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂のエアコン修繕を行い適切な施設管理を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁改修工事を行い施設の長寿命化を図る。</li> <li>・塩害等による劣化の進行を定期的に確認し、適切な時期に修繕、改修を計画する。</li> </ul>		
	60102070			1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 普通				改善の効果	高い
	赤羽根分署整備事業		3,008,258	3 高い	4 高い	5 普通							
			628,430										
			2,379,828										
17	消防・救急体制の充実	地域における消防防災活動の中心的な役割を担う消防団員の活動拠点として、詰所車庫を整備し、活動体制や機能の充実を図る。	<b>76,369,432</b>	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進んでいる詰所車庫の調査を継続して行い、計画的に建設、修繕及び更新を行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した伊良湖岬分団1号車詰所車庫を建設し、拠点施設として機能強化を図った。</li> <li>・土地所有者の変更に伴い、野田分団2号車詰所車庫の測量分筆調査業務を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災対応のみならず、風水害や長期間の活動も視野に入れ、広さが十分でない詰所車庫は更新する。</li> <li>・建築年数及び劣化度を調査し、修理及び改修により、施設の長寿命化を図っていく。</li> </ul>		
	60102090		65,702,600	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い				改善の効果	高い
	消防団施設整備事業		10,666,832	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
			64,222,265	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
			58,047,300										
	6,174,965												
18	消防・救急体制の充実	東三河5市で共同運用している消防緊急通信指令施設のシステム機能の維持管理を行う。	<b>16,673,405</b>	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> <li>・東三河5市で共同運用している消防緊急通信指令施設のシステム機能の維持管理を行った。</li> <li>・消防緊急通信指令施設及び消防救急デジタル無線設備の全体更新に向けた、東三河5市の取組が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防緊急通信指令施設のシステム機能の維持管理を適切に行い、安定した情報の管理と活用に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防緊急通信指令施設及び消防救急デジタル無線設備の全体更新について、東三河5市で協議し、内容を精査し、適切な時期に実施する。</li> </ul>		
	60102100		13,852,596	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い				改善の効果	高い
	消防通信施設整備事業		2,820,809	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
			17,351,554	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
			11,476,596										
	5,874,958												
19	消防・救急体制の充実	救急救命士を計画的に養成し、気管挿管及び薬剤投与認定救命士を順次養成する。また、心肺停止前の輸液、血糖値測定及びブドウ糖溶液投与ができる救急救命士を養成する。	<b>36,361,396</b>	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急救命士の管理職への登用等により運用救急救命士の確保が困難になってくるため、毎年1人以上の養成が必要である。</li> <li>・救急救命士業務の高度化に対応するため薬剤投与認定救急救命士、処置範囲拡大認定救急救命士の養成も必要となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標である運用救急救命士30人に到達した。名古屋市救急救命研修所へ派遣1人薬剤投与認定救急救命士の養成4人気管挿管認定救急救命士の養成1人処置範囲拡大救急救命士の養成1人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急救命士業務の高度化に対応するため、継続して薬剤投与認定救急救命士、処置範囲拡大認定救急救命士及び気管挿管認定救急救命士を養成する。</li> <li>・救急救命士の管理職への登用等により運用救急救命士の確保が困難になってくるため、計画的に救急救命士を養成していく。</li> </ul>		
	60103010		1,527,540	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い				改善の効果	極めて高い
	救急救命士等養成教育事業		34,833,856	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い							
			37,249,235	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い							
			3,299,720										
	33,949,515												
20	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急活動に関する業務の円滑な運営を行う。</li> <li>・災害から市民の生命、身体を迅速、安全、的確な活動により保護する。</li> </ul>	<b>281,104,634</b>	事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命率及び社会復帰率の向上を図るため、チームトレーニングを十分にを行い、現場滞在時間の短縮、質の高い救急活動を行う必要がある。</li> <li>・安全で円滑な業務の運営を行うため、感染対策を徹底する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な症例を想定したチームトレーニングを行い、円滑な活動と質の向上に努めた。</li> <li>・気道管理トレーナーを購入し、救急隊員の技術の向上を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度化する救急業務に対応するため、資機材の充実及び隊員の育成を図る。</li> <li>・救命率の向上を図るため、コンビニエンスストアのAED設置を継続する。</li> <li>・AED(FR3)のサポート期間終了に伴い、計画的な更新が必要となる。</li> </ul>		
	60103020		14,719,900	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い				改善の効果	高い
	救急活動事業		266,384,734	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い							
			284,492,777	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い							
			11,825,112										
	272,667,665												
21	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種災害事案に対応するため、機能低下した高規格救急自動車の更新整備を図る。</li> <li>・救命率向上に向けた高度救命資機材の整備を図る。</li> </ul>		事務事業評価					<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新計画に基づき、老朽化した赤羽根分署、瀬美分署の高規格救急自動車を更新した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車両の仕様を統一し、他の部署の隊員でも円滑な活動ができるようにする。</li> <li>・心肺蘇生法のガイドラインの変更に伴い、対応可能な資機材を整備する。</li> </ul>			
	60103030			1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い			改善の効果	高い	
	救急車両整備事業		76,784,913	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
			71,690,794										
			5,094,119										

No	施策名	事務事業の目的	R2決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和3年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和4年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
	事務事業名		R3決算額(円)										
			内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
22	消防・救急体制の充実	救命講習(AED講習を含む)を実施し、市民等への応急手当の普及啓発に努め救命率を高める。	2,700,701	事務事業評価					・救命率の向上には、救急隊到着前のバイスタンダーによる応急手当が重要であり、地域、企業等でAED設置が進む中、救命講習の受講者数を増やしていく必要がある。	・コロナ禍における行動制限の緩和を受け、受講者数と指導者数を制限し、感染対策を徹底することで救命講習会を開催することができた。 ・救命講習受講者数1,962人	・感染症対策を踏まえた会場づくりが必要であるため、指導者数、受講者数、レッスンプランなど状況に応じて見直しを図る必要がある。 ・JRC蘇生ガイドラインの変更に伴い、講習内容の見直しを図る必要がある。		
	60103040		606,538	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い				改善の効果	高い
	救命講習推進事業		2,094,163	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 高い						
			5,693,137	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
			228,221	4 高い	5 高い								
		5,464,916	5 高い										
23	消防・救急体制の充実	・災害から市民の生命及び身体を保護するため、救急車両及び装備品の維持管理を行う。 ・緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。	18,338,689	事務事業評価					緊急車両として安全に使用できるよう万全な車両整備が必要である。今後も法定点検や自主点検を実施し、徹底した維持管理を行う必要がある。	・法定点検及び自主点検の徹底を継続し、緊急車両として維持管理を行った。	・車両及び資機材等の法定点検及び自主点検の徹底を継続し、故障が発見された場合は修繕を行い、緊急車両として維持管理を行う。		
	60103050		4,418,486	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 普通				改善の効果	普通
	救急車両等維持管理事務		13,920,203	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 普通						
			16,522,653	3 極めて高い	4 高い	5 普通							
			2,408,326	4 高い	5 普通								
		14,114,327	5 普通										
24	防災・減災体制の充実	地震・津波、風水害等による自然災害からの被害を最小限に抑えるため、自治会等を中心に自主的に組織された自主防災会の活動及び防災資機材等の整備を支援する。	21,131,614	事務事業評価					・奨励金、補助金により自主防災活動の支援を実施。 ・自主防災活動推進地区を毎年2地区指定して自主防災活動の重点支援を実施しているが、地域防災力のさらなる向上に向け、継続実施の必要がある。	・神戸、伊良湖地区で推進地区活動重点支援を実施。防災上の課題を検討し、地域防災力の向上及び地域住民の意識高揚を図ることができた。	・推進地区活動重点支援の取組は、令和8年度で各コミュニティ協議会が2回通り実施を終える予定であるので、継続していく。発生が危惧されている震災に対応するため、さらなる地域防災力の向上に向け取組の充実を図る。		
	60201010		11,279,421	1 防災局 防災対策課	2 仲谷 和也	3 極めて高い	4 高い	5 高い				改善の効果	高い
	自主防災活動推進支援事業		9,852,193	2 仲谷 和也	3 極めて高い	4 高い	5 高い						
			20,303,360	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
			12,077,620	4 高い	5 高い								
		8,225,740	5 高い										
25	防災・減災体制の充実	各種訓練の実施、講習会・講演会等の開催を通して、市民へ地震や津波、その他自然災害への防災・減災意識の高揚を図る。	16,985,934	事務事業評価					・防災訓練、防災カレッジ、ほーもん講座、子ども防災教室等を実施し、市民の意識啓発を図った。 ・事前の備えとして、継続的な防災・減災意識の高揚を図る必要がある。 ・新型コロナウイルスの影響により、実施できないものもあった。	・防災訓練、防災カレッジ、ほーもん講座、子ども防災教室等を実施し、市民の意識啓発を図った。 ・新型コロナウイルスの影響により、例年通り実施できないものもあったが、防災講話を動画で配信するなどの取組も行った。	・より実践的な内容を取り入れた訓練・講習会等の実施による啓発を推進していく。 ・庁内各部局に対する訓練や講習などに取り組み、災害対応力の向上を図っていく。 ・新型コロナウイルスの影響により、実施できなかった地震体験車なども、再開していく。		
	60202010		1,190,457	1 防災局 防災対策課	2 仲谷 和也	3 極めて高い	4 高い	5 普通				改善の効果	高い
	防災意識啓発事業		15,795,477	2 仲谷 和也	3 極めて高い	4 高い	5 普通						
			8,087,454	3 極めて高い	4 高い	5 普通							
			1,890,878	4 高い	5 普通								
		6,196,576	5 普通										
26	防災・減災体制の充実	市の総合的な防災活動を効果的に推進するため、地域防災計画や国土強靱化地域計画等の着実な進捗を図る。 特に津波対策については、情報伝達・避難対策・災害復旧対策等に、より効果的な対策が図られるよう総合的な推進を図るとともに、国・県所管施設の整備については積極的に整備促進を図る。	24,984,803	事務事業評価					・地域防災計画の修正、国土強靱化地域計画・津波防災地域づくり推進計画等の各計画等における進捗管理を実施。 ・田原市南海トラフ地震臨時情報に係る防災対応方針を策定した。 ・自助による防災対策を支援するため、ライブジャケットの有償配付を行った。	・地震・津波災害、風水害等の大規模災害に対し、的確な状況把握と迅速な行動、初動から復旧・復興に関する一連の災害対策を的確に推進していく。 ・また、国のガイドライン等に基づき、特に南海トラフ地震に備えた取組を図る。特に南海トラフ地震臨時情報についての周知活動を行っていく。			
	60202030		5,460,229	1 防災局 防災対策課	2 仲谷 和也	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い			改善の効果	高い	
	災害対策事業		19,524,574	2 仲谷 和也	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い						
			28,310,281	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い							
			6,093,985	4 極めて高い	5 高い								
		22,216,296	5 高い										
27	防災・減災体制の充実	台風、集中豪雨等による水害や土砂崩れに対応するため、防災用備蓄土のう及び防災資器材を整備し被害の軽減を図る。	2,096,217	事務事業評価					・台風、集中豪雨等による水害や土砂崩れに対応するため、消防署、各分署に備蓄している防災用備蓄土のう及び防災資器材の整備を図った。市内に備蓄している防災用備蓄土のうの更新は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 市内に備蓄する土のう数 16,200袋	・豪雨や台風等の災害に対応するため、必要とされる資器材の整備や備蓄資器材の確保を行う。			
	60202050		1,890,936	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 高い			改善の効果	高い	
	災害対策事業(消防)		205,281	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 高い						
			581,447	3 高い	4 高い	5 高い							
			532,403	4 高い	5 高い								
		49,044	5 高い										
28	防災・減災体制の充実	洪水、高潮又は津波による水害等の災害発生防止に努め、応急対策を行うために必要な資材の整備を図る。	3,148,253	事務事業評価					・浸水等の被害軽減を図るために排水ポンプの操作訓練を実施し、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。 ・災害対応者の安全性向上を図るために資材の充実にも努めた。	各地で発生している豪雨等大規模な水害に備えるため、さらなる資機材の充実を図るとともに資機材の使用方法等の訓練を実施することにより、災害現場での迅速な対応及び被害の軽減に繋げる。			
	60203030		605,488	1 都市建設部 維持管理課	2 小谷 生典	3 極めて高い	4 高い	5 普通			改善の効果	高い	
	水防対策事業		2,542,765	2 小谷 生典	3 極めて高い	4 高い	5 普通						
			2,486,255	3 極めて高い	4 高い	5 普通							
			516,756	4 高い	5 普通								
		1,969,499	5 普通										

No	施策名	事務事業の目的	R2決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和3年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和4年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名	内 人件費	2 評価責任者氏名	R3決算額(円)	3 妥当性評価			
29	防災・減災体制の充実	大規模災害時における市民の救助救出及び避難生活に対処するため、必要となる物品の備蓄及び防災備蓄倉庫の適切な維持管理を行う。	<b>27,332,593</b>	事務事業評価					・避難所の良好な生活環境の確保に向けた必要物品の備蓄を計画的に実施する必要がある。	・計画的・効果的な備蓄体制とするため、田原市備蓄計画の見直しを行った。 ・備蓄計画に基づき、物品の計画的な備蓄を行った。 ・防災備蓄倉庫の棚卸しを実施し、物品等の適正な管理を行った。	・備蓄計画に基づいた物品の購入・更新を図りつつ社会動向に注視し、液体ミルク等の災害時に有効な物品の備蓄を検討・配備していく。 ・指定避難所への分散備蓄の推進を図る。 ・啓発等により自主防災会、事業者、家庭における備蓄の促進を図る。
	60203040		20,470,536	1	防災局 防災対策課	6,862,057	2	仲谷 和也			
	防災倉庫管理事業		<b>16,325,677</b>	3	極めて高い	9,523,838	4	高い			
			6,801,839	5	高い						
改善の効果	高い										
30	防災・減災体制の充実	災害発生時に避難所や医療救護所等において活用する設備や避難誘導灯、防災広場、防災井戸、飲料水兼用耐震性貯水槽等の防災設備の適切な維持管理を行う。	<b>3,768,204</b>	事務事業評価					・災害用救急医療資材の更新を実施。 ・指定避難所に開設される医療救護所の医療救護体制の確保・充実が課題。 ・飲料水兼用耐震性貯水槽等の防災設備の老朽化が課題。	・災害用救急医療資材(EM-5)の更新を行った。 ・災害発生時に設備が適正に使用できるように点検等を実施した。	・災害用救急医療資材の継続的な更新を行う。 ・防災設備の点検を継続的に行い、必要に応じて修繕等を行う。
	60203050		3,613,157	1	防災局 防災対策課	155,047	2	仲谷 和也			
	防災設備管理事業		<b>2,958,448</b>	3	高い	2,720,035	4	高い			
			238,413	5	普通						
改善の効果	普通										
31	防災・減災体制の充実	地震・津波・風水害等の災害情報や交通安全・防犯情報、その他市政全般に関する情報を、市民に対し迅速かつ的確に伝達するため、防災行政無線を始め各種防災情報通信機器の適切な管理運用を図る。	<b>46,324,699</b>	事務事業評価					・防災行政無線を始め、各種防災情報通信機器の維持管理を行っているが、無線機器等の老朽化が著しく、修繕等が難しくなってきている。	・機器の保守点検を実施した。 ・故障機器の修繕・改修を行った。 ・機器更新に係る方向性の検討を行った。	・確実な情報伝達手段を確保するため、老朽化が進む同報系無線機の更新を図る。
	60203060		38,150,016	1	防災局 防災対策課	8,174,683	2	仲谷 和也			
	防災情報通信施設設備管理事業(60203060,60203020)		<b>45,862,380</b>	3	極めて高い	33,980,825	4	極めて高い			
			11,881,555	5	高い						
改善の効果	普通										
32	防災・減災体制の充実	南海トラフ地震による津波に備えるため、津波避難困難地域における避難対策として、一時避難場所(津波避難施設)を整備する。また、津波避難看板や海拔表示板の適切な維持管理を図る。	<b>114,702,703</b>	事務事業評価					・大規模自然災害に備え、津波避難困難地域における避難対策として、一時避難場所(津波避難施設)、避難看板、避難路、避難誘導灯、海拔標示板等を整備している。 ・避難時の余裕のない中でも「分かりやすい」看板になるような工夫が必要。	・小中山地区津波避難施設の整備工事(4か所)を実施した。 ・津波避難看板の修繕(2か所)等	・施設を活用した地域住民による訓練の継続と適切な維持管理を行う。
	60203070		107,628,430	1	防災局 防災対策課	7,074,273	2	仲谷 和也			
	防災施設整備事業(60203070,60203074,60204010)		<b>311,350,807</b>	3	極めて高い	305,066,514	4	極めて高い			
			6,284,293	5	普通						
改善の効果	極めて高い										
33	防災・減災体制の充実	田原市耐震化促進計画に沿い、民間住宅等建築物の耐震化を推進することにより都市の防災性を高め、震災から市民の生命と財産を守る。	<b>46,644,847</b>	事務事業評価					・耐震診断の戸別訪問(ローラー作戦)等を行っているが、特に高齢者世帯の耐震改修が進んでいない。 ・設計士、工務店等を対象に耐震改修における安価な工法の勉強会を開催し、知識や技術の向上を図っている。	ローラー作戦や小学校への耐震出前講座の実施を計画していたが、ローラー作戦についてはコロナ禍の影響により中止した。	ローラー作戦、無料相談会、出前講座のほか、ダイレクメールでの啓発活動を行う。 耐震化率向上のため、大学教授や愛知建築地震災害軽減システム研究協議会との連携により、地域ぐるみの防災街づくり講演会や大工等との設計・施工勉強会を開催するなど一層の耐震化啓発を行う。
	60204020		32,957,685	1	都市建設部 建築課	13,687,162	2	平井 堅一郎			
	建築物耐震化推進支援事業		<b>60,104,137</b>	3	極めて高い	42,801,061	4	高い			
			17,303,076	5	高い						
改善の効果	高い										